



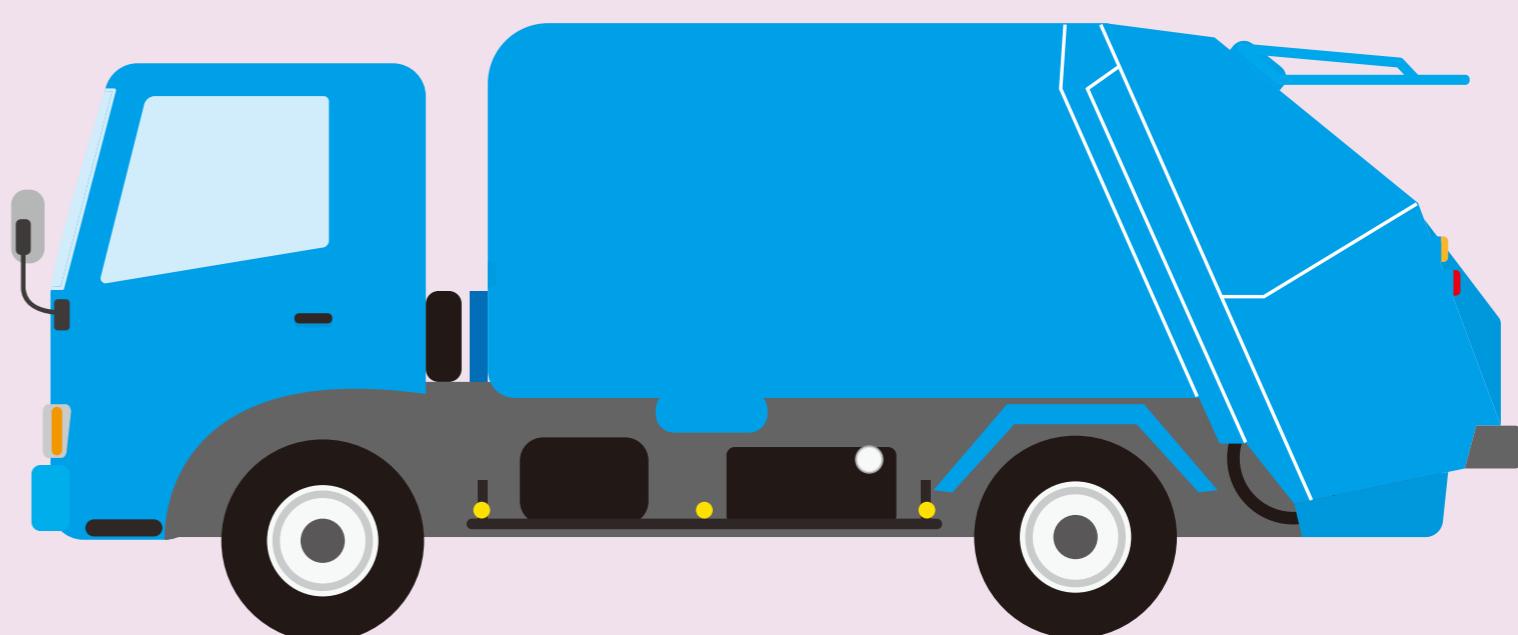
堆肥原料

下水汚泥・工業汚泥・生ごみ・食品残さ
・剪定枝・廃油・家畜ふん尿など、
堆肥として有効利用できるものを
原料としています。



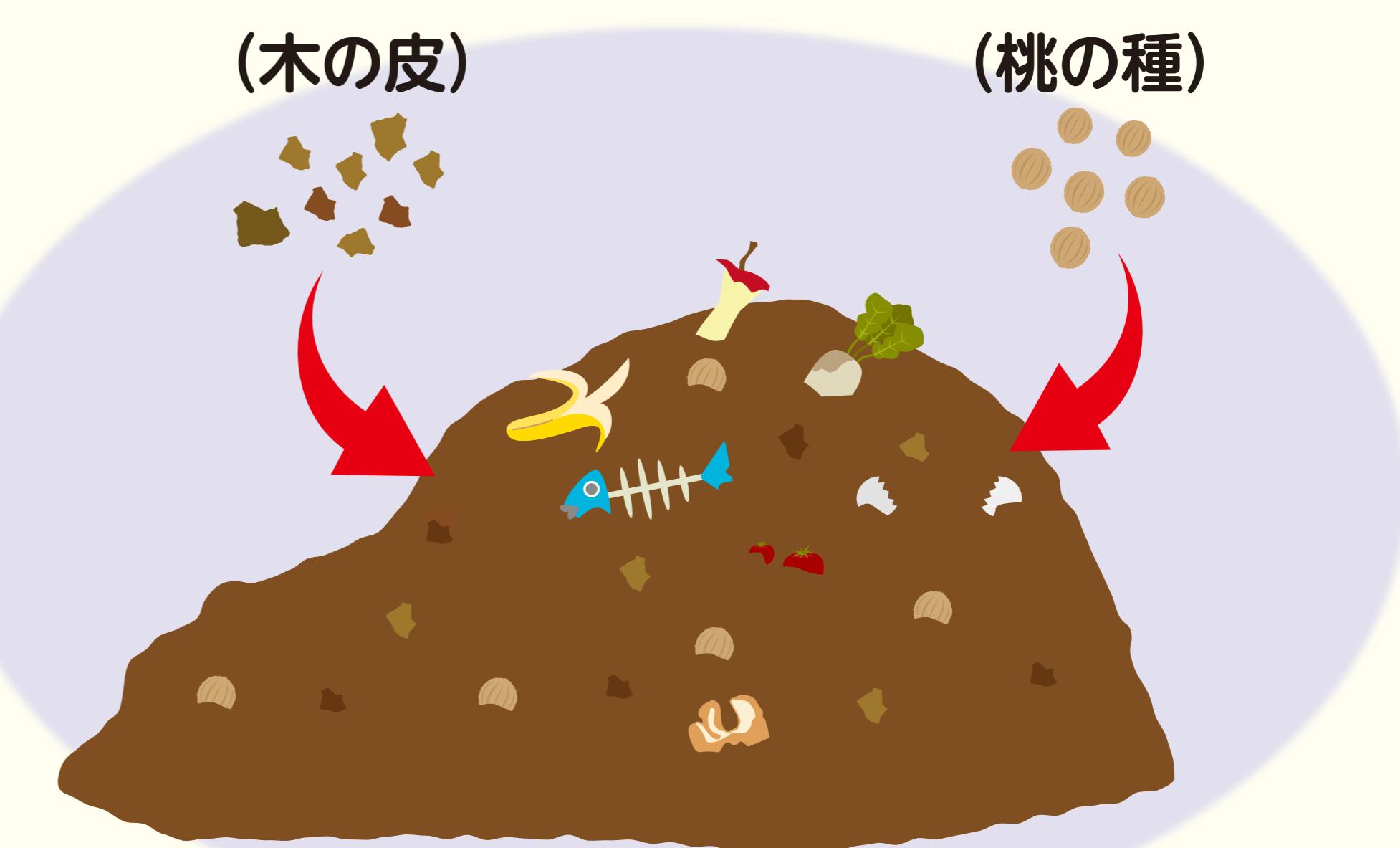
受入

収集運搬専用車輌により、堆肥化施設
「エコプラザ」に搬入されます。



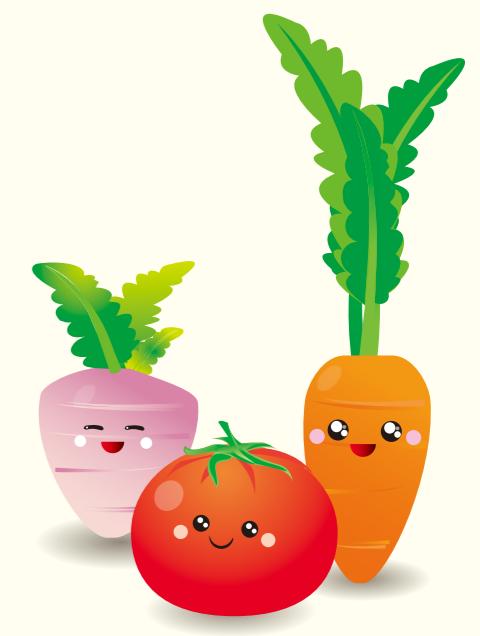
水分調整材混合

原料の発酵処理を効率よく行うため、
木の皮や桃の種などを混ぜ込み、
水分量を調整し空気の通り道を
確保します。



堆肥製造 フローチャート 2

Tanno



投入

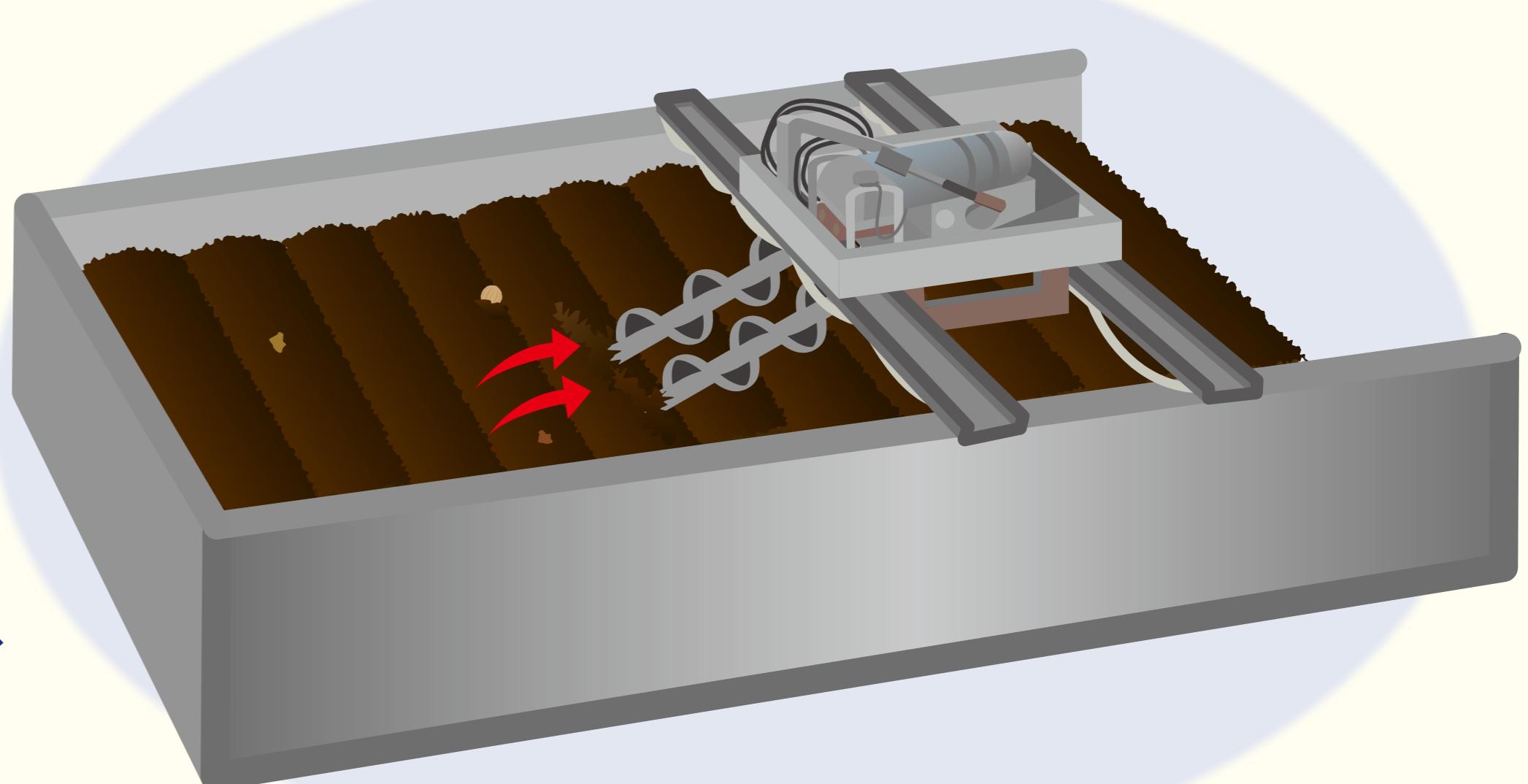
原料・水分調整材は、タイヤショベルで撒布機に入れられます。撒布機を動かし、発酵槽へ投入されます。



発酵処理



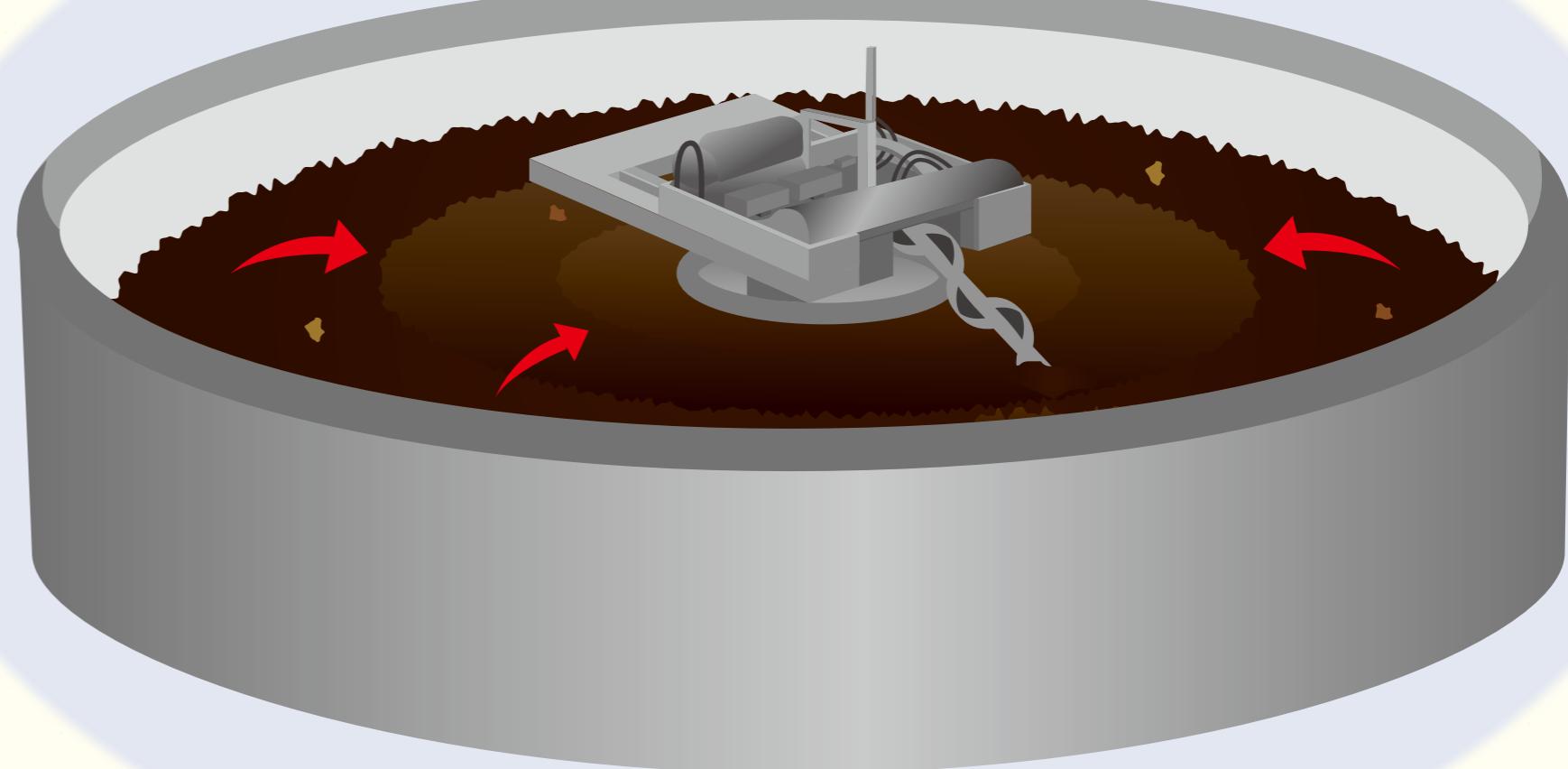
エコプラザ
二号機棟



発酵槽に空気を送り込み、空気を好む「好気性の発酵微生物」を活性化させ発酵槽の温度を常時60°C～80°Cに保ち、食品残さや有機汚泥を発酵・分解させます。



エコプラザ
一号機棟

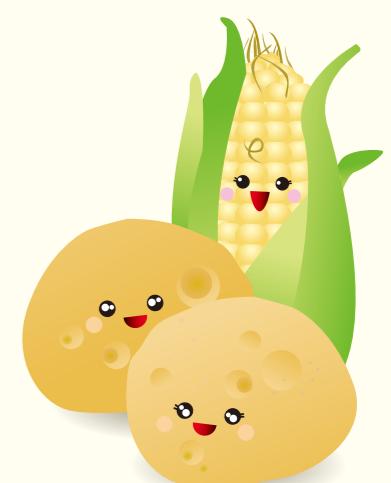


堆肥製造 フローチャート 3 へ

「再生利用事業者登録」(県内第1号)

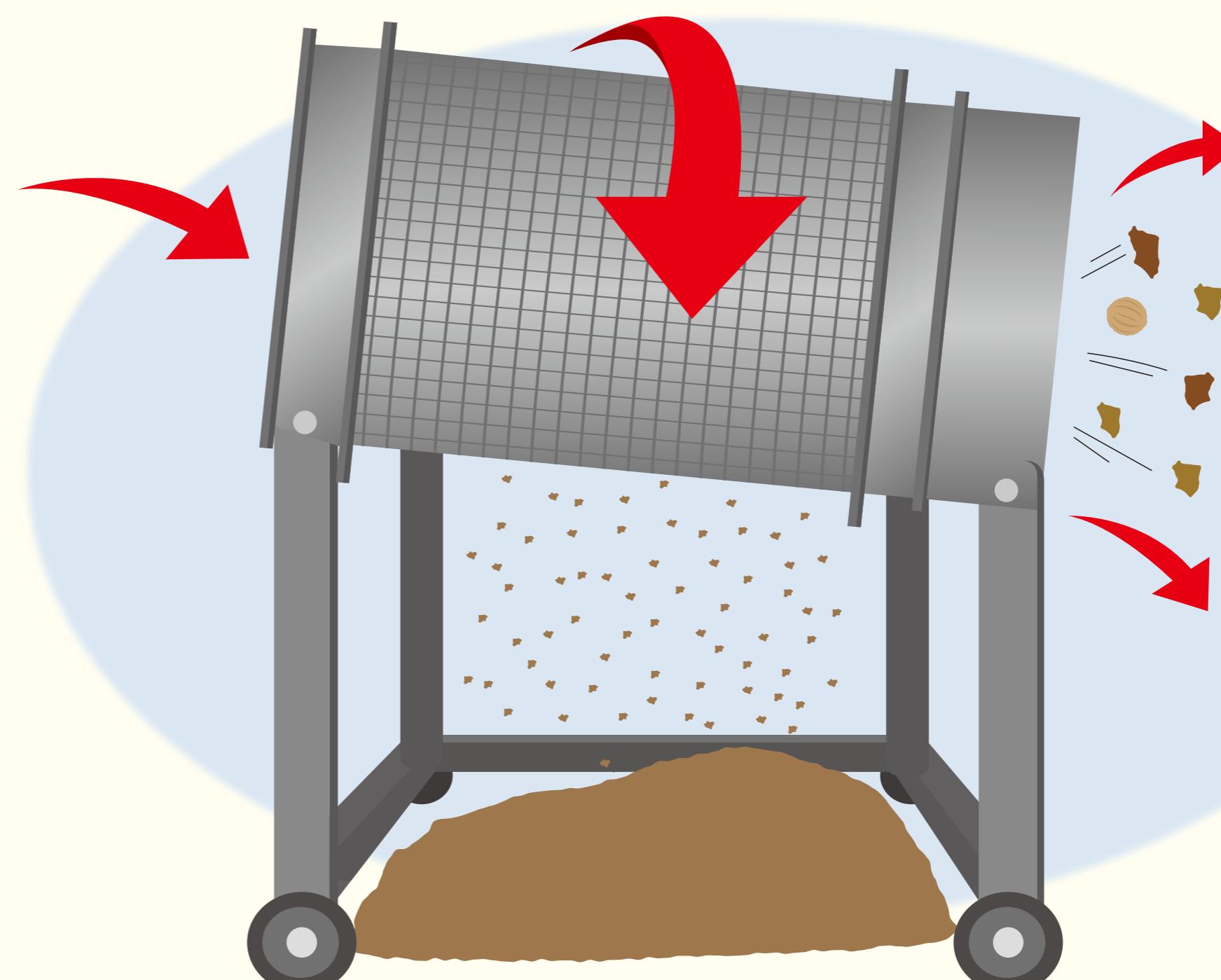
堆肥製造 フローチャート 3

Tanno



ふる 篩い分別

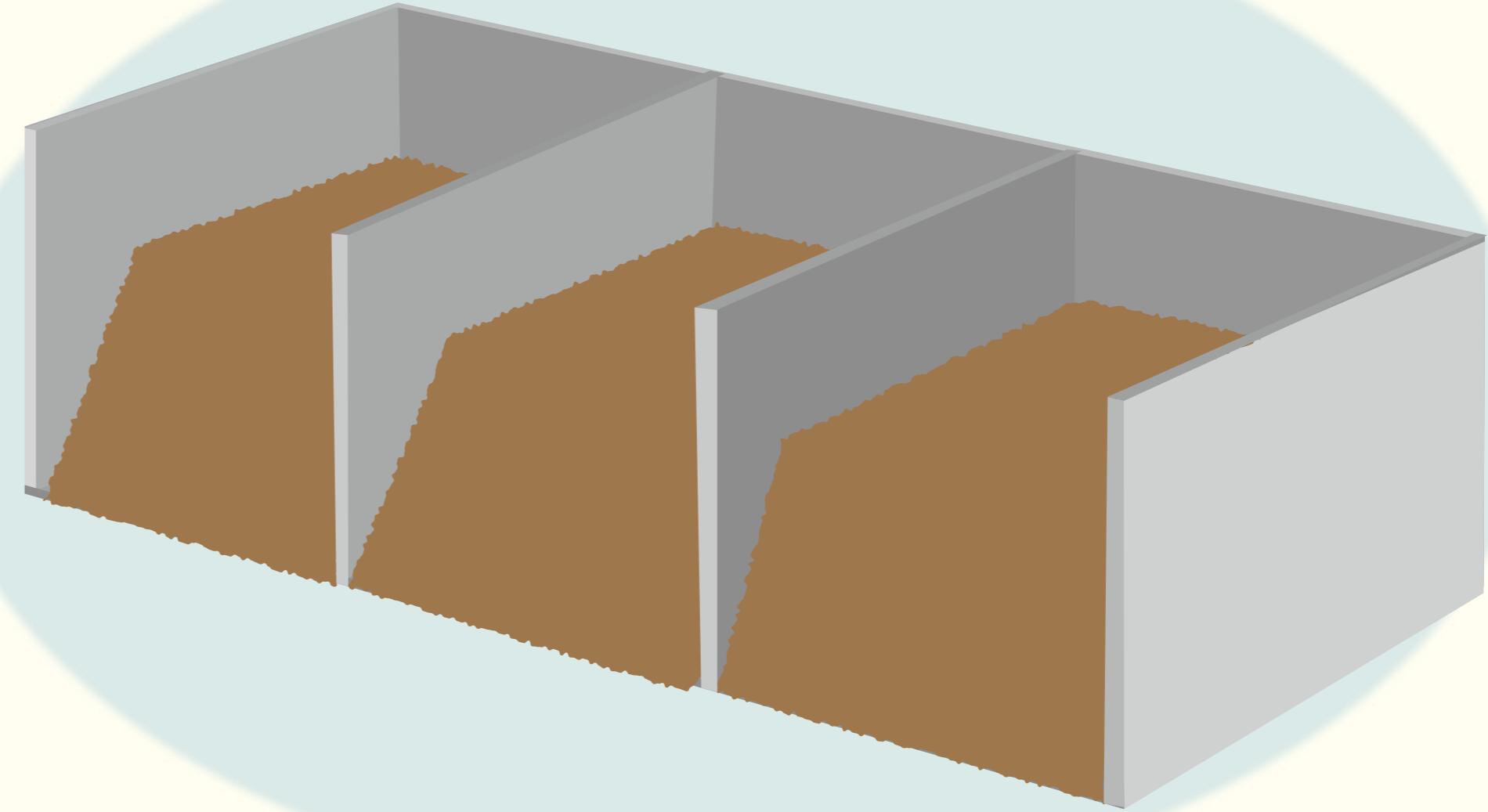
発酵処理された堆肥の中から水分調整材を取り除き、良質な堆肥だけを選別します。



水分調整材（木の皮・桃の種）

熟成保管

植物が取り込みやすい良質な堆肥を作るため、タイヤショベルで切り返し、作業を行い堆肥をさらに熟成させます。



製品

堆肥を使用しやすいペレット状に加工し、野菜・果樹・田などで使用していただいております。

また、「エコたいひ」の愛称でホームセンター・エコプラザで販売しております。



※お客様に安心して使っていただくために、成分分析を定期的に行っております。



県内廃棄物の排出抑制と資源循環利用の進展に効果がある製品として県が認定したものです。